

学校だより

# 川中 TIMES

Trying for your dreams

佐賀市立川副中学校

学校通信 第16号

令和6年12月10日

文責 校長 馬郡直樹

## 人権週間 開催

# 人権を尊重し合うことの大切さ

川副中学校では、人権感覚を磨き、人権意識を高め、全ての人々の幸せな生活を尊び、自分も他人も等しく認め合う生徒を育成するために、12月2日（月）から6日（金）の期間を人権週間に設定しました。期間中、道徳科、社会科や人権集会等において人権について学びを深めました。

3日（火）、2年生では道徳科の授業において、「差別はなぜ生まれるのだろう」という題材で学習しました。内容は、新型コロナウイルス感染症が流行していた時代において、医療従事者に対する差別についてある新聞記者取材をしていく中で、記者自身も自分の中にも差別心があることに気づき、思い悩むというものでした。先生の話では、『差別を生み出すのは、「無知」や偏見や決めつけなどの「先入観」であり、差別はする人がいるから起こる。受ける側の問題ではない』とまとめがありました。2組 SA さんの感想は、「今まで言ってきたことが差別や決めつけになっていないか、人権週間を通して改めて考えてみたい」でした。

4日（水）には2年生すべての学級で社会科の授業と道徳科の授業において学習しました。社会科の授業では、単元名「さまざまな身分とくらし」で江戸時代の身分制

度が現在にもつながっていることを、道徳科の授業では、「人権～幸せに生きるために～」のテーマで差別をなくすことはみんなの幸せにつながることを学びました。3組 YY さんの感想は、「今まで自分の何気ない一言が差別になっているかと思った。自分や周りの人が差別しないように、人権について考えることが大切だと感じた」でした。

1年生も道徳科の授業ではテーマ「考えてみよう！人にやさしいところ・気になるところ」で、「人権マップ」の中から人にやさしい部分や気になる部分を探し、身近な人権問題に気づくことができました。1組 KK さんは「現在でも差別があることを知った。女子の黒色のランドセルについて責めていることはいけないと思った」と感想でした。

6日（金）には生徒会主催で人権集会を開催しました。福岡県椎田中学校の2年生が書いた「コロナ禍で学ぶ」という人権作文と絵本「おもやい どがしこでん」の朗読をとおして人権を学びました。3-3 AM さんは「自分がいじめや差別をしないようにお互いの人権を守りながら優しく接していきたい」、3-3 TK さんは「ウイルスによる偏見やデマが SNS で拡散され差別が生まれている現状を知り、もっと人権を大切にしたいと思った」との感想でした。

### 《第38回佐賀市少年の主張大会へ出場し、優良賞を受賞》

12月8日（日）に標記大会が開催され、市内小中学生25人が意見発表を行いました。川副地区の代表として3年 KR さんが参加し、優良賞を受賞しました。KR さんは「夢への決意」というテーマで、あることがきっかけとなり看護師を目指すようになり、今は、看護科に合格するために努力を重ねている。将来は患者に寄り添える看護師になりたいという内容で、素晴らしい発表でした。KR さんのコメントは、「個人的には最優秀賞を逃して悔しいけど、発表者の誰よりも楽しむことができたので満足。今回いい経験をしたので、これからの生活にいかしていきたい」でした。

写真は、配布した学校だよりで確認してください。

道徳科の授業の様子＝2年2組

写真は、配布した学校だよりで確認してください。

人権集会の様子＝リモート授業

写真は、配布した学校だよりで確認してください。

発表の様子＝メートブラザ

## 12月全校朝会 開催

# 自分のできることを考え、そして実行しよう！

12月3日に全校朝会を開催し、校長の話では、人権について話をしました。以下内容の抜粋です。

人権とは、「人間が生まれながらに持っているあたりまえの権利」であり、その中でも「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」などを心がけてもらいたい。年齢、人種、性別、住んでいる場所など関係なく、全ての人に人権がある。そして、「人権」は「命」と同じくらい大切なもので、すべての人にとって守られなければならないもの。この機会に、人権問題を知り、自分以外の「誰か」のことではなく自分のこととして捉え、人権を尊重し合うことの大切さについて認識を深め、自分に何ができるかを考えてほしいと思う。

人権問題とは、例えば、女性差別、子どもに関すること、LGBTQに関すること、障害者に関すること、外国人に関すること、気候変動、部落差別などであり、他にもある。

子どもの人権や権利は「子どもの権利条約」によって守られており、この条約を批准している国や地域は世界中に196あり、世界で最も広く受け入れられている人権条約である。日本も1994年にこの条約に批准し、子どもの生命や人権を守ることに取り組んでいる。

身近なところでも、私たち個人が人権を守るためにできることはたくさんある。たとえば、

- ①男性の役割や女性の役割などの既存の考えに偏見がないかなど疑問を持ち、多様性を尊重すること
- ②自分の言動が他人を傷つけていないか振り返ること
- ③自分だけでなくみんながよりよく生活していくために、意見を言う。

さらに人権感覚を磨き、そして世界中のみんなの人権が尊重される時代にしていくためにも、人権週間で学びを深め、自分にできるは何かということを考え、そして実行してほしいと思う。

今回の司会は、1-1NIさん、1-1ESさんが務めてくれました。NIさん、ESさんの感想はそれぞれ、「緊張した。もう少し声が出せたらよかった。次はもっとうまく言いたい」「練習よりよくできた。また挑戦したい」でした。二人のチャレンジに拍手！

### みんなの表彰

#### 第44回川副町「少年の主張」大会

会長賞 3年3組 KRさん

審査員特別賞 2年2組 TAさん

#### 第27回JFさが海の子作品展(図画の部)

佳作 1年1組 FYさん

佳作 1年1組 MSさん

佳作 1年1組 MMさん

#### 第28回JFさが海の子作品展(習字の部)

佳作 1年2組 YNさん

#### 佐賀広域消防局防火ポスターコンクール

優秀賞 3年3組 KRさん

#### 第74回社会を明るくする運動作文コンテスト

優秀賞 3年2組 HYさん

#### 第74回佐賀県美術展覧会(デザイン)

入選 2年1組 FYさん

#### 生命保険作文コンクール

都道府県別賞 1年2組 SMさん

#### 第20回博愛作文コンクール

博愛大賞 3年1組 ISさん

博愛賞 3年1組 TRさん 優良賞 3年2組 SFさん

優良賞 3年1組 EAさん 優良賞 2年1組 GKさん

優良賞 3年1組 ENさん 優良賞 1年2組 NRさん

写真は、配布した学校だよりで確認してください。

博愛作文入賞者のみなさん

※大賞を受賞されたISさんの作品は、オリンピック観戦を通して、試合後対戦相手とお互いの健闘を称えあう選手の態度がいじめや戦争をなくすと感じ、自分も人に優しく接していきたいと感じたという内容でした。審査委員長からは、審査員全員に対して訴えが届いた作品であり、JRCの実行目標の気づき考え実行するが感じられたと講評がありました。